



もっとこう！通信

2025 年
夏号

株式会社 東風社

■「ノイズ」を大切にする■

こんにちは、幸本陽平です。

仕事柄、ユーザーインタビューや消費者座談会に参加する機会が多くあります。こうした場で、ここ最近、変化を感じることがあります。それはネガティブな評価に対する表現です。以前であれば、「私はあまり好きじゃない」「ちょっと合わないかも」といった表現だったのに対し、最近では「これはダメですね」「失敗だと思う」といった、全否定する表現が増えたように感じます。自分の好みに合わないというだけで、これは失敗だ、こう直すと良くなるよ、と言い切ってしまうのです。

背景として、生活の中で「失敗」する機会が極端に減ったことがあるからではないでしょうか。たとえば、何かを買うとき、私たちは事前にインターネットでレビューや評価を調べます。その結果、好みや期待と大きく外れた商品を買うような失敗は少なくなりました。そもそも、商品の品質が上がり、明らかな粗悪品をつかまされることも減りました。さらに、動画配信サービスのように定額で利用できるサービスでは、映画がつまらなかつたら途中で視聴をやめればよく、金銭的な損失はほとんどありません。しかし、昔は映画を観るにも、レンタルビデオを借りるにも、それなりの出費がありました。だからこそ、つまらないから失敗だと思いつつも、「せっかくだから最後まで観よう」となり、その過程で思わぬ発見がある等、自分とは異なる価値観を得られたのではないのでしょうか。



現在は、自分の好みにぴったり合ったものが簡単に見つかる一方で、それ以外に触れる機会が極端に少なくなりました。WEBのアルゴリズムは自分と似た考えや好みの情報を優先して表示し、日々のインプットはどんどん「快適」に最適化されていきます。結果として、自分の好みから外れたものが「ノイズ」に見え、それをわざわざ受け入れようとする気持ちも薄れていくのかもしれない。しかし、そのような自分の「外」の世界にあるノイズにこそ、今の自分にはない新たな世界や発見があります。自分の心地よさだけを追求すると、視野は広がりません。時には「つまらない」「自分むきじゃない」と思っても一度飲み込んでみる、そんな柔軟な姿勢が新たな発見をもたらしてくれるのではないのでしょうか。

■近況のお知らせ■

6年ぶりの海外旅行に行くため、パスポートを新調しました。今はマイナンバーカードでオンライン申請できるのでラクです…と言いたところですが、サイズぴったりの顔写真や氏名サインの画像ファイルを用意するなど、わりとハードルは高いです。しかも、パスポートに適した顔写真かどうかをAIで判断され、何度も却下されました（申し込んでから却下されるよりはマシなのですが）。マイナンバーカード1枚持って窓口に行けば全部済むようになればラクなのに…と思ってしまいました。

【発行者 プロフィール】

名前 幸本 陽平（こうもと ようへい）

生年月日 1979年5月30日

出身地 新潟県長岡市

近況 Switch2 一向に当たりません

経歴 :高級化粧品ブランドでマーケティング職を経験後、独立。マーケティングやロジカル思考、プレゼンテーションが得意。各種補助金の支援も。中小企業診断士。

